

主要行等の令和 6 年 9 月期決算の概要

1. 損益の状況（グループ連結ベース）

- 令和 6 年 9 月期は、国内貸出金の利回り上昇や残高増加等による資金利益の増加や、資産運用ビジネスの好調等による役務取引等利益の増加、政策保有株式売却による株式等関係損益の増加等により、当期純利益は前年同期比 40.2%の増益（28,528 億円）。

（単位：億円）

	R4 年 9 月期	R5 年 9 月期	R6 年 9 月期	前年同期比
業務粗利益	59,376	65,030	74,166	9,136
資金利益	34,647	28,449	33,777	5,328
役務取引等利益	18,982	21,350	23,676	2,326
その他業務利益	3,856	9,367	3,395	▲ 5,972
うち債券等関係損益*	▲ 6,426	▲ 501	801	1,302
経費	▲ 36,318	▲ 38,307	▲ 42,533	▲ 4,226
業務純益	23,715	27,360	32,440	5,080
コア業務純益*	21,745	18,169	20,510	2,340
コア業務純益*（除く投資信託解約損益）	16,318	17,002	18,814	1,812
与信関係費用**	▲ 4,001	▲ 3,359	▲ 2,967	392
株式等関係損益	2,447	1,505	8,303	6,798
親会社株主に帰属する当期純利益	13,174	20,342	28,528	8,186

*債券等関係損益、コア業務純益については銀行単体ベース。**与信関係費用について、正の値は益を、負の値は損を表す。

（参考）	R4 年 9 月末	R5 年 9 月末	R6 年 9 月末
貸出金（末残）***	353.3 兆円	361.1 兆円	370.9 兆円

***貸出金は銀行単体ベースの銀行勘定計。

2. 不良債権の状況（銀行単体ベース）

- 不良債権残高と不良債権比率は、令和 6 年 3 月末に比べ低下。

	R5 年 9 月末	R6 年 3 月末	R6 年 9 月末
不良債権残高	3.2 兆円	3.9 兆円	3.5 兆円
不良債権比率	0.77%	0.93%	0.83%

3. 自己資本比率の状況（グループ連結ベース）

- 国際統一基準行の総自己資本比率、Tier1 比率、普通株式等 Tier1 比率は、令和 6 年 3 月末に比べ上昇。

- 国内基準行の自己資本比率は、令和 6 年 3 月末に比べ上昇。

（国際統一基準行：4 グループ）

（国内基準行：3 グループ）

	R6 年 3 月末	R6 年 9 月末
総自己資本比率	16.50%	17.61%
Tier1 比率	14.83%	15.78%
普通株式等 Tier1 比率	12.98%	13.64%

	R6 年 3 月末	R6 年 9 月末
自己資本比率	11.42%	11.90%

（注1）記載金額・比率は、四捨五入して表示。

（注2）グループ連結ベースは、みずほFG、三菱UFJFG、三井住友FG、三井住友トラストG（以上、国際統一基準行）、リソナHD、SBI新生銀行、あおぞら銀行（以上、国内基準行）を対象とする。

（注3）銀行単体ベースは、みずほ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行、リソナ銀行、三菱UFJ信託銀行、みずほ信託銀行、三井住友信託銀行、SBI新生銀行、あおぞら銀行を対象とする。

（注4）各グループ公表資料等より、金融庁作成（公表数値の定義はグループにより異なる場合がある）。

（注5）過去の計数については、一部グループの業績修正等により、過去の当庁公表数値と異なる場合がある。